KIMOTO REPORT 株主通信

第56期 2015年4月1日▶2016年3月31日

contents

- 株主の皆様へ
- トピックス
- 特集　新中期経営計画
- 決算ハイライト
- 会社概要
- 役員一覧
- 株式の状況
- 株主メモ
- 1株当たり配当

株式会社きもと

証券コード：7908

株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの2016年熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地が一日も早く復興することをお祈り申し上げます。

2016年3月期連結会計年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の決算をご報告申し上げます。

当社グループは、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとし、欧州では新たな市場に向け積極的な営業を展開してまいりました。

しかしながら、スマートフォン市場の減速の影響を受け、タッチパネル用ハードコートフィルムの販売が大幅に減少したことにより営業損失508百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、訴訟における損害賠償金として415百万円（22百万人民元）、繰延税金資産の取崩しにより599百万円を計上したことから減収減益となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は15,597百万円（前連結会計年度比10.3%減）、営業損失は508百万円（前連結会計年度の営業損失は150百万円）、経常損失は522百万円（前連結会計年度の経常利益は228百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,640百万円（前連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は50百万円）となりました。

2016年3月期は残念ながら、再再度の下方修正をいたしました。製品がマーケットの要求に対応ができなかったこと、日本的な感覚で裁判を進めてしまったこと、予算の組み方の認識が不足していたことが業績不振の要因となりました。誠に申し訳ございませんでした。

今年5月に第4次中期経営計画を発表させていただきました。株主様・お取引先様・お客様及び従業員とその親族の皆様にKIMOTOの今後をご説明し、ご理解を頂戴できればと存じます。

全社一致団結し、業績回復に向け皆が一生懸命働いております。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長
木本和伸

特集 新中期経営計画 詳細は中面をご覧ください。

TOPICS

コネクティッド・カーEXPOに出展

2016年1月13～15日に東京ビッグサイトにて開催されました、アジア最大級のクルマの先端技術展、第4回コネクティッド・カーEXPOに出展しました。ブースには、「超高速点群データビューアソフトウェア　GeoverseMDM」「点群データをリアル写真調へ変換するソフトウェアSolidscan」等のデモンストレーションをご覧いただけるように展示しました。また、工場内のコミュニケーションツールとして、「コミュニケーションデザイン」も紹介。皆様のおかげをもちまして、盛況のうちに展示会を執り行うことができましたことを、心よりお礼申し上げます。

出展模様

カーボンフェザーに注力

カーボンフェザーはPETフィルムにカーボンブラックを混ぜた液をコーティングして作られた、優れた遮光性、平滑性、帯電防止性を併せ持つフィルムです。
最初はカメラの絞り羽根として採用され、デジタルカメラの軽量化によりシャッターに使用され、携帯電話のカメラ向けに薄膜化に対応するなど、カメラと共に進化してまいりました。
今後、カメラとのコラボレーション拡大が予想されるのが自動車で、視界補助、画像認識、赤外線と車載カメラの用途は広がりをみせております。
当社は車載用途として、耐熱性に優れた新グレードを開発。車載以外にも、監視カメラ、内視鏡カメラ、ウェアラブルデバイスやゲーム機など、カメラ用途の需要を見込み、新市場向けの製品開発を進めてまいります。

カーボンフェザー

コーポレートガバナンス・コードへの対応

2015年6月、金融庁と東京証券取引所で策定されたコーポレートガバナンス・コードの適用が、全上場企業を対象に始まりました。
当社は、100年継続する魅力的な企業を目指し、持続的な成長と企業価値の向上を実現することを目的として、末永くKIMOTOファンでいていただけるよう、コーポレートガバナンス・コードの5つの基本原則に対応した「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を定めました。

コーポレートガバナンスに関する基本方針

1. 株主の権利を尊重し、平等性を確保します。
2. 顧客・株主及び従業員の利益を考慮し、適切に協働します。
3. 会社情報を適切に開示し、透明性を確保します。
4. 独立社外取締役は、多様な視点で取締役会による業務執行の監督機能を強化します。
5. 持続的な企業価値の創造に向け、株主との間で建設的な対話を行います。

第4次中期経営計画 FPD to IoT 人と共に成長するIoT関連企業へ

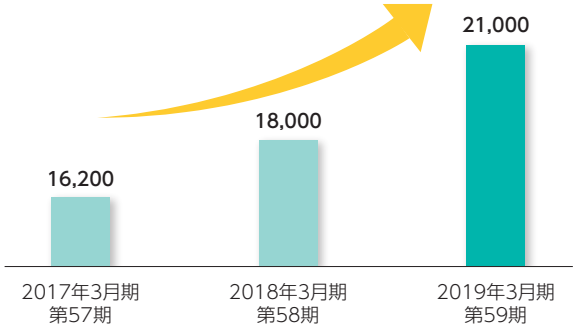
収益目標

2019年3月期

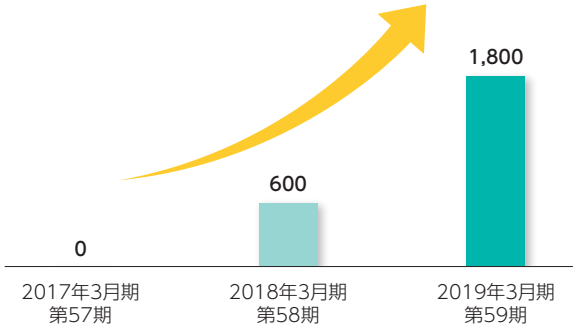
売上高
21,000百万円

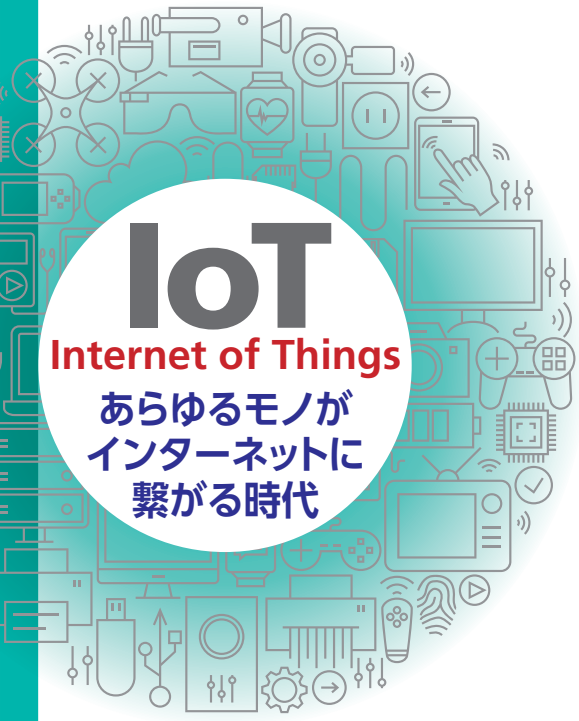
営業利益
1,800百万円

●売上高 (単位：百万円)



●営業利益 (単位：百万円)





IoT時代の3つの事業

フィルム
機能性フィルム開発・製造事業

付加価値のあるフィルム製品およびIoT関連市場において積極的に新製品の開発を進め、IoTを活用し製造技術の改革に取り組み経営効率の向上を目指します。IoT市場に関連するタッチパネル、ディスプレイ、センサー市場を中心に売上高50%増、粘着、離型製品において新規フィルム売上高15億円を目標とします。

コンサルティング
働き方・仕組み創り支援事業

製造業における工場内のコミュニケーション活性化、ワークフロー改善など新しい働き方の提案を通じて、お客様への解決策を示しその発展を助けるコンサルティング業務を推進します。製造業コミュニケーション活性化の為の様々なツール開発と人材の更なる育成、製造業の工場内コンサルティング事業を中心に10億円のビジネスへの発展を目指します。

データキッチン
ビッグデータ編集・加工事業

時代の変遷と共に変化するニーズに画像処理技術、データ加工技術を発展させ、多種多様な分野で利用されるデジタルデータを提供します。画像処理技術、データ加工技術のマルチ化、点群データによる3次元データ作成技術の強化を行い、データ事業を14億円のビジネスに発展させることを目指します。

決算ハイライト

(単位:百万円)

	2012年3月期 第52期	2013年3月期 第53期	2014年3月期 第54期	2015年3月期 第55期	2016年3月期 第56期
売上高	22,383	22,387	21,721	17,391	15,597
営業利益	1,511	2,373	2,448	△150	△508
経常利益	1,566	2,636	2,673	228	△522

(単位:百万円)

	2012年3月期 第52期	2013年3月期 第53期	2014年3月期 第54期	2015年3月期 第55期	2016年3月期 第56期
親会社株主に帰属する当期純利益	760	1,470	1,786	50	△1,640
総資産	27,555	29,243	28,799	27,732	25,345
純資産	18,696	20,102	21,432	21,824	19,240

会社概要

2016年3月31日現在

名称	株式会社 きもと
所在地	〒338-0013　埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
設立	1961年2月9日
事業内容	・電子・電気機器用、プリント回路用、光学機器用、情報記録用、環境測定用等各種フィルムの製造及び販売 ・コンピュータ出力用、設計用、印刷用、サイン・グラフィックス用等各種フィルム並びに用紙の製造及び販売 ・航空写真及び諸種図面の撮影並びに複製に関する事業 ・測量、デジタル写真測量、地図編纂、地図印刷 ・コンピュータ情報処理サービス並びにソフトウェアの開発及び販売 ・農産物の生産、加工及び販売 ・酒類の販売
従業員数	552名
取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行 (株)みずほ銀行 (株)りそな銀行　他
営業拠点	[国内]札幌、仙台、新宿、立川、名古屋、大阪、福岡 [海外]台北(台湾)、ソウル(韓国)、蘇州(中国)、深圳(中国)
工場	三重県(いなべ市) 茨城県(古河市)
研究所	埼玉県(さいたま市)
海外関連会社	KIMOTO TECH, INC.(米国)、 KIMOTO AG(スイス)、 瀋陽木本実業有限公司(中国)、 木本新技術(上海)有限公司(中国)

(注) 1. 当社は、2014年11月18日開催の取締役会において、経営資源の集約及び経営の効率化を図るため、連結子会社である瀋陽木本実業有限公司(中国)及び木本新技術(上海)有限公司(中国)について、前者を存続会社として合併することを決議しております。
2. ソウル(韓国)事務所は2016年5月12日付で閉鎖しました。

役員一覧

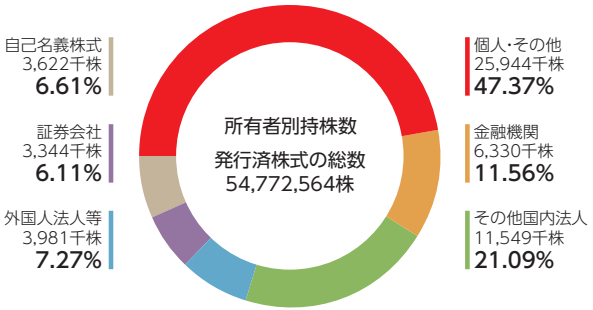
2016年6月17日現在

代表取締役社長	木本　和伸	常勤監査役	湊　加津美
常務取締役	笹岡　芳典	監査役	蘰原　信
常務取締役	下里　桂司	監査役	帖地　マリ子
取締役	鈴木　亮介		
取締役	岡本　孝志		
取締役	宮田　久美子		

株式の状況

2016年3月31日現在

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	54,772,564株
株主数	6,802名



大株主

株主名称	持株数[千株]	持株比率[%]
きもと共栄会	5,605	10.96
株式会社 精和	3,602	7.04
立花証券 株式会社	2,581	5.05
きもと従業員持株会	2,521	4.93
木本和伸	2,391	4.68
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,119	4.14
東レ 株式会社	2,104	4.11
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,640	3.21
東京中小企業投資育成 株式会社	1,484	2.90
泉 株式会社	916	1.79

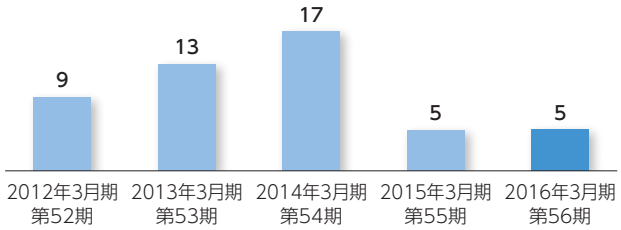
(注) 1. 当社は自己株式を3,622千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での保有株式数を記載しております。

株主メモ

- **事業年度**
  毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会**
  毎年6月
- **基準日**
  定時株主総会　3月31日
- **剰余金の配当の基準日**
  毎年3月31日及び毎年9月30日
- **単元株式数**
  100株
- **株主名簿管理人**
  東京都中央区八重洲一丁目2番1号
  みずほ信託銀行株式会社
- **特別口座の場合**
  郵便物送付先／電話お問合せ先
  〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号
  みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
  TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)
  お取扱店　みずほ信託銀行株式会社　本店及び全国各支店
  みずほ証券株式会社　本店及び全国各支店
  公告掲載新聞　日本経済新聞

1株当たり配当

(単位:円)



(注) 2014年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

KIMOTO
〒338-0013　埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
TEL:048-853-3381　FAX:048-853-9041

IRサイトのご案内　KIMOTO IR　検索
UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915